

# 1人1台端末の活用による実践事例 (小・中学校用)

学校名	新見市立野馳小学校	実践者名	渡邊 恵子
教科	図画工作	学年	第3学年
活用内容	撮影 作品作成	実践日	令和3年10月28日
		授業活用段階 (岡山県版)	Stage 1
単元・内容等	『『小さな自分』のお気に入り』 視点を変えることで場所のもつ新たなよさを見付け、自分の思いに合わせてさらによい場所につくりかえていこうとする力を育てる。		

## 活用の概要 (目的・活用場面・使用アプリ名を含む)

### 【前時まで】

- ・学校内(運動場、教室、特別教室等)で、自身の「お気に入りの場所」を見つける。
- ・「お気に入りの場所」に、全身写真(図1の「小さな自分」)を配置し、タブレット端末で撮影する。



### 【本時のようす】

#### (1) 本時のめあてをつかむ

めあて タブレットで、さつえいした「小さな自分のお気に入り」を友達にしょうかいしよう。



#### (2) 撮影した写真を Jamboard 上で組み合わせ、作品作りを行う。

- ・自身が撮影したものの中から、友達に紹介したい画像を選定する。
- ・選定した写真を Jamboard 上に貼り付け、付せん機能で、見る人がさらに楽しくなるようなコメントを記入する。



#### (3) 友達に自分の作品を紹介する。

- ・電子黒板に、自身の作品(Jamboardの画面)を投影する。
- ・どんな思いで写真を撮ったか、どんな工夫をしたか等を発表する。

#### (4) まとめと振り返りを行う。

自身が撮影した画像を Jamboard 上で直感的に操作し、大きさや配置を変更したり、付せん機能でおすすめポイントを書き添えたりすることで、鑑賞の際「お気に入りの場所」を友達に分かりやすく伝えることができた。(指導主事より)

実践者の手ごたえ	児童生徒・保護者等の主な反応や声
どの児童も楽しみながら取り組むことができた。写真にイラストやコメントを書き加えることで、自分の表したい世界観をより表現することができた。	(児童から) 「写真をとるのも、写真をレイアウトするのも楽しかった。」「取り込んだ写真にかきこみができるので、友達に自分の気持ちを伝えることができてうれしかった。」